

事前評価個表

整理番号	9
------	---

地域（地区）名	さいたま 埼玉	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	埼玉県	対象市町村	秩父市ほか19町村
事業実施期間	H30 ～ H34（5年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合、森林所有者等

事業の概要・目的	<p>本地区は、埼玉県の西部に位置し、5市14町1村からなり総土地面積は182千haで県土の48%を占めている。森林面積は115千haで、民有林が103千ha（森林全体の90%）、国有林が12千ha（森林全体の10%）となっており、うち民有林の人工林面積は56千ha（人工林率54%）で、主にスギやヒノキである。</p> <p>特に、間伐等を必要とするⅢ～ⅩⅡ齢級の林分は、35千haで人工林の63%を占めており、間伐や主伐後の再造林などの適正な管理は急務であるが、林業採算性の悪化により森林所有者の森林経営意欲が減退し、継続的かつ適正な森林整備が困難な状況になっている。</p> <p>その一方で秩父市内には原木の供給先となる製材工場があり、利用区域はその集荷圏に含まれる。このため、集約化した施業地に森林作業道を整備し、効率的な施業を実施することで、森林資源の循環利用を図り、県産木材の安定供給が期待できる。</p> <p>また、林道を開設することにより、伐採搬出や、皆伐跡地の再造林、下刈・間伐等の森林整備にかかるコストの削減が見込まれ、地域材利用の促進にもつながるほか、生活道並びに災害時の緊急迂回路として、地域の生活基盤強化につながる。</p> <p>本県は当該事業により多様な森林整備を促進し、森林のもつ水源涵養機能、二酸化炭素の吸収・貯蔵機能、花粉発生の抑制等公益的機能の向上を図るとともに中山間地域の雇用を創出する。</p> <p>具体的には、本計画に基づき、本事業による効率的な施業に不可欠な路網の整備と搬出間伐や再造林等の森林整備を一体的・計画的に実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：森林整備面積1,240ha 人工造林、下刈り、枝打ち、除伐、間伐、森林作業道等</p> <p>路網整備：4,050m 幅員3.5m 林道の開設</p> <p>総事業費：1,627,668千円</p>
費用対効果分析結果	<p>$B/C=2.33$</p> <p>（総便益（B）=5,214,149千円、総費用（C）=2,237,720千円）</p>
評価結果	<p>必要性：水源涵養機能及びCO₂吸収などの公益的機能の向上、森の若返り推進、及び木材の安定供給に関する地域の要請に応えるため、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性：費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。</p> <p>有効性：保育等の森林整備を通じ、多面的機能を発揮する健全な森林の育成に資するものであり、路網の整備も森林整備と連携したものとなっている。また、木材の安定供給や雇用の創出など山村の振興を図るものとなっており、有効な事業であると認められる。</p>

整理番号

9

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備事業

都道府県名: 埼玉県

地域(地区)名: 埼玉^{さいたま}

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	842,966	
	流域貯水便益	156,709	
	水質浄化便益	521,295	
山地保全便益	土砂流出防止便益	733,927	
環境保全便益	炭素固定便益	839,825	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	154,100	
	木材利用増進便益	39,331	
	木材生産確保・増進便益	118,282	
森林整備経費縮減等便益	森林整備促進便益	1,807,714	
総 便 益 (B)		5,214,149	
総 費 用 (C)		2,237,720	
費用便益比	$B \div C = \frac{5,214,149}{2,237,720} = 2.33$		

森林環境保全整備事業埼玉地域(埼玉県)概要図

森林整備事業イメージ



植栽後



間伐後

路網整備事業イメージ



開設後



改良後

